

Funehiki High School News vol.142

～がんばる船高生～ **ATTENTION!** 第22回 高校体育大会県大会出場決定 女子ソフトテニス部

高校体育大会の地区予選が5月上旬から中旬にかけて行われました。本校ではソフトテニス部、剣道部、卓球部、バレーボール部が県大会出場を決めました。

今回は個人戦ダブルスで県大会に出場する石井怜伽さん(3年 移中出身)・松崎未来さん(3年 移中出身)と、佐久間萌衣さん(3年 滝根中出身)・松本愛花さん(2年 大越中出身)の2つのペアに話を聞きました。——ペアとして心掛けていることはなんですか？

石井・松崎ペア 「後衛がボールをつなげてチャンスを待ち、前衛がボレーで決めるという、『二人で1本』のチームプレーを心掛けています。ピンチの時にもアイコンタクトで心が通じていると感じます。」

——パートナーはどんな存在ですか？
佐久間さん 「私が弱気になった時には自信を持たせる声掛けをしてくれて、心強く思っています。」

松本さん 「先輩とペアを組むことにプレッシャーも感じますが、ここぞという時に頼れる存在で安心です。」

——今年度の練習は どうですか？

全員 4月から市営テニスコートが新しく整備され、恵まれた環境で練習できています。

——県大会に向けての抱負は？

石井・松崎ペア 「指導して下さった方々に成長した姿を見せられるように、自分達らしいプレーをしたいです。」

佐久間・松本ペア 「感謝の気持ちを大切に、最後は二人で笑顔で終われるように、精一杯頑張ります。」



▲左から佐久間さん、松本さん、松崎さん、石井さん



▲練習にも力が入ります

◆デュアル実習、今年もお世話になります。

本校と田村市、地元企業が連携して取り組む「田村市版デュアルシステム」の調印式が4月18日に本校で行われました。



▲実習生代表あいさつの様子

式では、運営協議会長の田村市長様と実習先代表の白石勇人様(白石モータース代表取締役)から激励の言葉をいただいた後、実習生を代表して白石凌己さん(3年 船引中出身)が「地域社会に貢献できるよう精一杯学びたいと思います。」と実習に向けた決意を述べました。今年度のデュアル実習生は、2年生15名、3年生15名です。2年生は毎週木曜日、3年生は毎週火曜日に市内の企業・施設でお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233
HP...<https://funehiki-h.fcs.ed.jp> mail...funehiki-h@fcs.ed.jp

田村市の美しい景色



Bobby Eisel
バビー・アイソルさん
(アメリカ合衆国
イリノイ州出身)
田村市に来て2年目

日本では、大勢の人が各地の美しい景色を見ようと休日にはあちこちへ出かけて行きます。幸運なことに、田村市にはすぐ近くに美しいところがたくさんあることで、私はそれぞれの季節の特徴と魅力を知ることができました。冬にはアメリカで見たことがない大きな雪片が風に舞う日があり、片曾根山が神秘的な白い毛布で覆われ、家々や通りの灯りが白い粉砂糖を衣にしたカッパケキのように見える日もあります。田村市の冬は寒いですが、輝く雪で特別なお菓子のようでした。



春は暖かな気候と、鳥たち、新しい花々、爛漫の開花をもたらす桜とともにやって来ました。日本には訪れてみたい多くの桜の名所がありますが、大滝根川沿いの桜も美しさに特有の魅力があります。春に川沿いを散歩したり、温暖な気候や桜の景色を楽しむと、新たな活力がえられます。梅雨が明けると、田村市の夏はすべてが緑に覆われます。片曾根山は生気に満ちて深緑になり、明るい花々が咲いている庭をいたるところで見ることができました。田村市のいろいろな種類の花や新鮮な野菜の豊富さに感動します。そして、生き生きとした夏の植物や明るい太陽の光は、人々に元気や笑顔を与えています。秋も同じように美しく、田村市の山々の木々は紅葉し、すべての樹木が赤や黄や金色など驚くほど美しい色に変わります。田村市では、白くきらめく冬、繊細で華やかな桜の咲く春、植物の活力にあふれた夏、紅葉の秋冬四季それぞれの変化と特有の美しさを存分に見ることが出来ます。そのような美しい田村市で生活できることを私はとても幸せに思います。

海を越えて 英語指導助手ペンリレ No. 71



Endia Mathews
エンディア・マシューズさん
(アメリカ合衆国
ジョージア州出身)
田村市に来て3年目

ベジタリアンにとっての日本
日本での生活が二年を過ぎましたが、今でもアメリカ人と日本人の両方から私の好きな食べ物について多くの質問を受けます。私はベジタリアン(菜食主義者)なので、日本に食べることでできない食べ物がたくさんあると答えると、多くの人が驚きます。すると質問が、「どんな日本食が好きですか。」から「どんな食べ物なら食べることが出来ますか。」に変わります。率直に言うと、日本はベジタリアンでいることが簡単ではないと感じます。アメリカでは、食事の注文をベジタリアン用に変えるのは簡単です。しかし、日本の多くのレストランでは、料理を制限食(ベジタリアン向き)に変更するのは簡単ではないようです。時にはこのことを不満に思うこ



ともありますが、日本人たちへの批判的な捉え方ではなく、日本人(の人たち)の食文化を理解して受け入れることを学びました。また、友人と一緒に外食を楽しむことができないことを残念に思うこともありますが、それを機に自分で料理することを学びました。私が日本食で食べることができないのはそばやうどんなどです。また、日本でしか食べることができないとてもおいしい野菜もたくさんあります。今年人気があるたくさんの日本料理をベジタリアンでも食べられる作り方を学びたいと思っています。